minimoog VOYAGER Keyboard
バージョン３．５ 追補マニュアル

バージョン３．５では下記の機能が追加されました。このマニュアルでは変更あるいは追加された機能について説明しています。バージョン３日本語取扱説明書の本文の同項目については、この追補マニュアルの説明でご使用ください。

■MASTERモード

MASTERモードで次のリストの太字の機能が変更、追加されました。

V3. 4のMASTERモード・メニューリスト	V3. 5のMASTERモードメニュー・リスト
1.1 MIDI Run Status	1.1 MIDI Local Cont.
1.2 MIDI Local Cont.	**1.2 MIDI IInput/Output**
1.3 MIDI Merge Func.	1.3 MIDI Run Status
1.4 MIDI Prg. Change	1.4 MIDI Merge Func.
2.1 MIDI Mod.Wheel	2.1 MIDI Prg. Change
2.2 MIDI Channels	2.2 MIDI Mod.Wheel
2.3 MIDI In ON/OFF	**2.3 MIDI Punic Func.**
2.4 MIDI Out ON/OFF	**2.4 Storage Mode**
3.1 Send Panel Sound	3.1 Send Panel Sound
3.2 Send Presets	3.2 Send Presets
3.3 Receive Presets	3.3 Receive Presets
3.4 SysEx Device ID	3.4 SysEx Device ID
4.1 Transpose In/Out	4.1 Transpose In/Out
4.2 MIDI Key Order	4.2 MIDI Key Order
4.3 Velocity Curve	4.3 Velocity Curve
4.4 Copyright Info	4.4 Copyright Info
5.1 Software Version	5.1 Software Version
5.2 Send System ROM	5.2 Send System ROM
5.3 Send Boot System	5.3 Send Boot System
5.4 Receive Update	5.4 Receive Update

1.2 MIDI Input/Output
V3.4のMIDI In ON/OFF、MIDI Out ON/OFFとMIDI Channelsの設定を１つのページで設定するように変更しました。設定項目は同じです。

2.3 MIDI Punic Function
何らかの異常によってVoyager自身またはVoyagerのMIDI Outに接続されているMIDI音源が鳴りっぱなしになってしまった時に、MIDI All Note Offメッセージを出力し、全てのキーのノートオフ、モジュレーション、ピッチベンドのリセットを出力するための機能が、MIDI Punic Functionです。この設定をYESにすると、PANELまたはEDITボタンの選択からMSTERボタンを押したときに、上記のMIDIメッセージを出力します。

2.4 Storage Mode
EDITのSave Presetメニューで、エディットしたプリセットを現在の位置とは違う番号に保存した際に、その保存先のプリセット番号に移動するのがStorage Modeです。
この設定をYESにすれば、保存後、保存先のプリセット番号に移動します。NOであれば、これまでどおり、エディット中のプリセット番号が選択されます。

■EDITモード

EDITモードで次のリストの太字の機能が変更、追加されました。

V3. 4のEDITモード・メニューリスト	V3. 5のEDITモード・メニューリスト
1.1 Compare to preset 1.2 Recall last Sound 1.3 Init. Parameters 1.4 Pitch Bend Amt. 2.1 Pgm. M. Whl. Source 2.2 Pgm. M. Whl. Dest. 2.3 Pgm. Pedal Source 2.4 Pgm. Pedal Dest. 3.1 Pgm. Shaping 1 SRC 3.2 Pgm. Shaping 2 SRC 3.3 Keyboard Modes 3.4 Trigger Modes 4.1 Fil. A Pole Sel. 4.2 Fil. B Pole Sel. 4.3 Fil. Env Gate SRC 4.4 Vol. Env Gate SRC 5.1 T.S. Destinations 5.2 T.S. Mem. Mod Bus 5.3 T.S. Mem Global 5.4 Pot Mapping S/D 6.1 MIDI Clock Divider 6.2 Sound Category 6.3 Preset Name 6.4 Save Preset	1.1 Compare to preset 1.2 Recall last Sound 1.3 Init. Parameters 1.4 Pitch Bend Amt. 2.1 Pgm. M. Whl. Source 2.2 Pgm. M. Whl. Dest. 2.3 Pgm. Pedal Source 2.4 Pgm. Pedal Dest. 3.1 Pgm. Shaping 1 SRC 3.2 Pgm. Shaping 2 SRC 3.3 Keyboard Modes 3.4 Trigger Modes **4.1 Glide Modes** **4.2 Filter Pole Sel.** 4.3 Fil. Env Gate SRC 4.4 Vol. Env Gate SRC 5.1 T.S. Destinations 5.2 T.S. Mem. Mod Bus 5.3 T.S. Mem Global 5.4 Pot Mapping S/D 6.1 MIDI Clock Divider 6.2 Sound Category 6.3 Preset Name 6.4 Save Preset

4.1 Glide Modes

グライドを使用する際の動作の仕方を、８つのモード（Mode）から選択します。プリセットに保存されます。

Mode 1: これまでと同じグライド。演奏時、常にグライドが掛かります。
Mode 2: レガートグライド。レガートに演奏したキー間でのみグライドが掛かります。
Mode 3: レガートに弾いた２番目のキーに対してのみレガートが掛かります。その後に続けて弾かれるキーにはグライドは掛かりません。
Mode 4: レガートに弾いた２番目のキーから最初のキーに戻る時のみレガートが掛かります。その後に続けて弾かれるキーにはグライドは掛かりません。
Mode 5: レガートグライドの逆モード。最初に弾いたキーに対してのみグライドが掛かり、レガートに弾いたキーにはグライドは掛かりません。
Mode 6: モード４と５の組合わせでグライドが掛かります。
Mode 7: レガートに演奏して、最初に弾いたキーに戻る時のみグライドが掛かりません。それ以外は常時グライドが掛かります。
Mode 8 : レガートに弾く２つのキー間で、順にグライドのオン/オフが交互に切り替わります。

4.2 Filter Pole Sel.

V3.4のFil. A Pole Sel.とFil. B Pole Sel.の設定を１つのページで設定するように変更しました。設定項目は同じです。

■PANELモード

PANELモードでは、メニューの変更はありませんが、次の機能が追加になりました。

クイックセーブ：PANELモードで、プリセットをエディット後、MASTERボタンを２回続けて押すと、現在のプリセット位置に保存されます。

カテゴリー閲覧：PANELモードで、ENTERボタンを押すと、現在のプリセットと同じカテゴリーの次のプリセットが呼び出されます。これにより同じカテゴリーに属するプリセットを連続して呼び出すことができます。また、ENTERボタンを押しながらCURSORボタンを押すと、逆順で呼び出すことができます。

Voyagerキーボードのアップデート

アップデートに関する注意：
＊メモリー仕様がバージョン３のVoyagerは本**OS ３．5**にアップデートできます。
＊メモリー仕様がバージョン３未満のVoyagerは本**OS ３．5**にアップデートできますが、プリセットのバンクは１つだけのままです。メモリーを増やすためにはメモリーのアップグレードが必要です。
＊本説明書が付属している製品を購入された方は既に本**OS ３．5**にアップデートされています。
＊アップデートに使用するファイルは必ずキーボード（KBD）用をご使用ください。ラックマウント用を使用すると一部動作が不完全になります。

注：メモリーのアップグレードは有償です。アップグレードキットを準備のため時間が掛かりますので、ご希望の方は前もって楽器店でお申し込みの上、ご依頼ください。

アップデートには、Voyager以外に、MIDIインターフェース付のパソコン、アップデートファイル（Moogからのダウンロードファイル）、SysExデータを送信できるMIDIソフトウェア、たとえば、WindowsならばMIDIOX [www.midiox.com] 、マッキントッシュならSysEx Librarian [www.snoize.com] が必要です。
初めてMIDIによるアップデートをされる方は、アップデートを始める前に、MIDIインターフェースとMIDIでSysExを送信するソフトウェアについて、研究し慣れてください。
もし、MIDIインターフェースが「アクティブセンシング」メッセージを送っている場合は、少なくともこのアップデートをする間は停止させてください。

重要な注意： アップデートをする前にあなた自身が作成されたプリセットをパソコンに保存されることを強くお勧めします。このアップデートではプリセットのメモリー位置が移動するため、一部が消えます。保存の方法は取扱説明書でMASTERモードのSEND PRESETメニューを参照してください。

OSのアップデート

VoyagerキーボードのOS（オペレーティング・システム）をバージョン３．5にアップデートするファイルは４つのMIDIシステムエクスクルーシブ（SysEx）ファイルで提供されています。ファイルはBank A、Bank B、Bank C、Bank D用があり、それぞれ約40キロバイトです。手順は次のとおりです。

１．パソコンのMIDIインターフェースのMIDI OUTをVoyagerキーボードのMIDI INに接続します。
２．パソコン、Voyager両方の電源を入れます。
３．MIDI SysEx送信用のソフトウェアを立ち上げます。
４．まず、アップデートファイルの「bank_**B**_350.syx」をソフトウェア上にロードします（開きます）。
５．VoyagerのMASTERモードでRECEIVE UPDATEメニューに入り、CURSORボタンでYESとしてENTERキーを押します。
「Waiting for System Exclusive Data Transfer」と表示され、アップデートデータを待ちます。
６．MIDI SysEx送信用のソフトウェアで送信を開始します。Voyagerは受信状況をバー表示し、終わると再起動します。
７．この回で再起動すると、Voyagerのディスプレーには
「The Operating System has to be reloaded. Re-load Bank **D**? (Yes/No)」
と表示されます。CUSORボタンでYESにしてENTERボタンを押すと、
「Waiting for System Exclusive Data Transfer of Bank **D**」
と表示され、受信待ちになります。
８．アップデートファイルの「bank_**D**_350.syx」をソフトウェア上にロードします（開きます）。
９．MIDI SysEx送信用のソフトウェアで送信を開始します。Voyagerは受信状況をバー表示し、終わると再起動します。
１０．次は、アップデートファイルの「bank_**A**_350.syx」をソフトウェア上にロードします（開きます）。
１１．先の５，６，の手順と同様にアップデートデータの送受信を行います。
１２．この回で再起動すると、Voyagerのディスプレーには
「The Operating System has to be reloaded. Re-load Bank **C**? (Yes/No)」
と表示されます。CUSORボタンでYESにしてENTERボタンを押すと、
「Waiting for System Exclusive Data Transfer of Bank **C**」
と表示され、受信待ちになります。
１３．アップデートファイルの「bank_**C**_350.syx」をソフトウェア上にロードします（開きます）。
１４．MIDI SysEx送信用のソフトウェアで送信を開始します。Voyagerは受信状況をバー表示し、終わると再起動します。
１５．この回で再起動すると、Voyagerのディスプレーには
「The Operating System has to be reloaded. Re-load Bank **D**? (Yes/No)」
と表示されます。CUSORボタンでYESにしてENTERボタンを押すと、
「Waiting for System Exclusive Data Transfer of Bank **D**」
と表示され、受信待ちになります。
１６．アップデートファイルの「bank_**D**_340.syx」をソフトウェア上にロードします（開きます）。
１７．MIDI SysEx送信用のソフトウェアで送信を開始します。Voyagerは受信状況をバー表示し、終わると再起動します。
１８．再起動するとVoyagerはPANELモードになって、アップデートは完了です。

Voyager OS 3.5 Addendum

© Moog Music 2010, all rights reserved